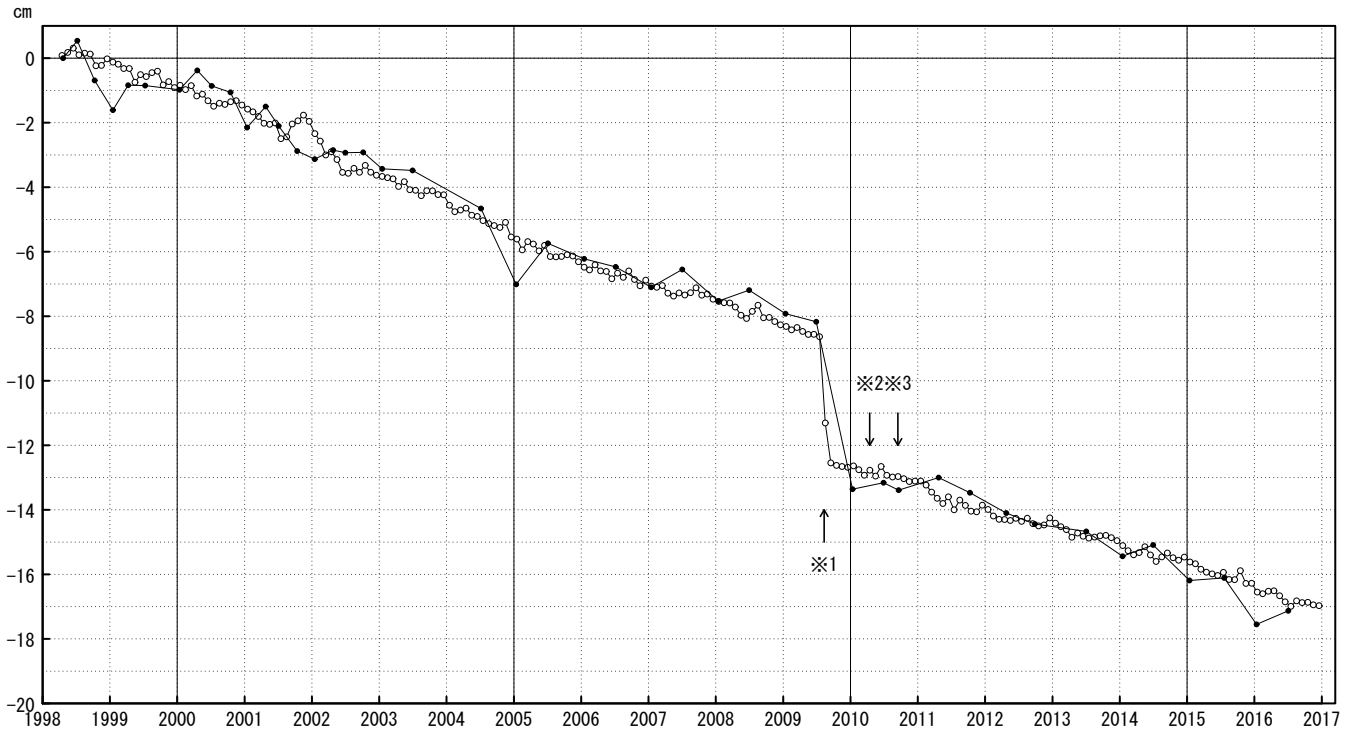


御前崎 電子基準点の上下変動

水準測量と GNSS 連続観測

掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

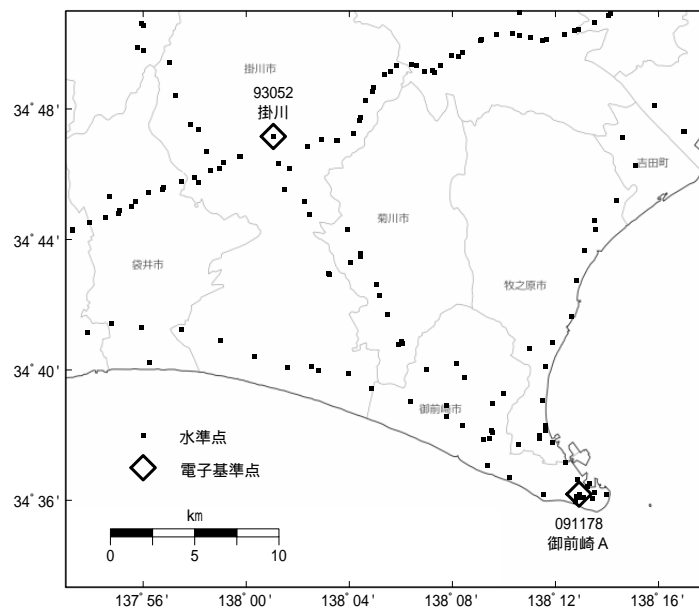
掛川 (93052) - 御前崎 A (091178)



● : 水準測量 ○ : GNSS 連続観測 (GEONET 月平均値)

・ 最新のプロット点は 12/01~12/03 の平均。

- ※1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎 A」のデータを接続して表示している。
- ※3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。

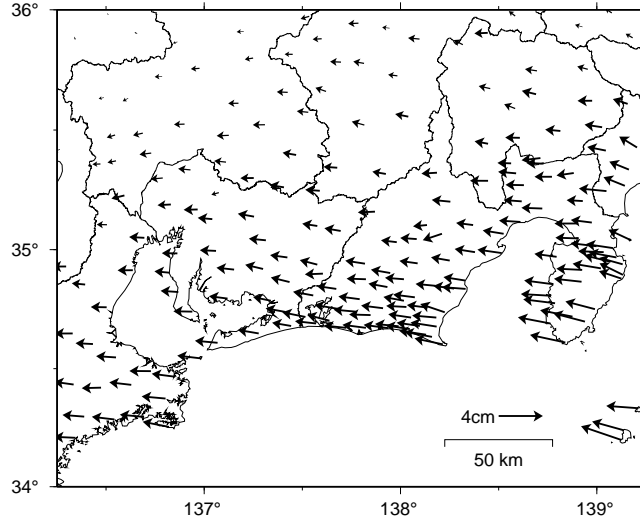


東海地方の水平地殻変動【固定局：三隅】

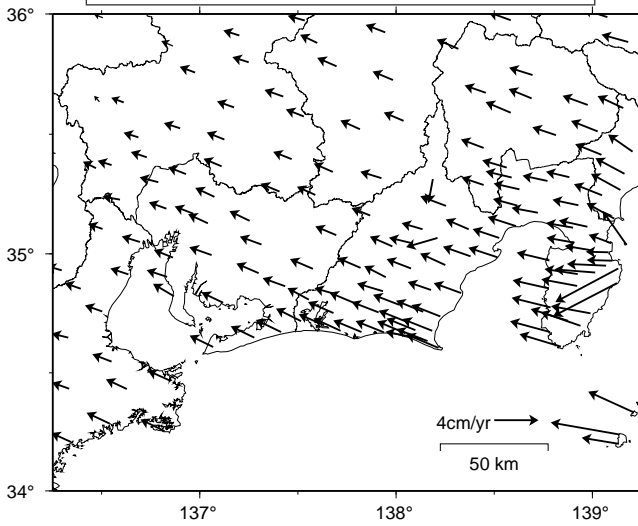
(2015年12月～2016年12月)

基準期間：2015/12/10 - 2015/12/17 [F3：最終解]

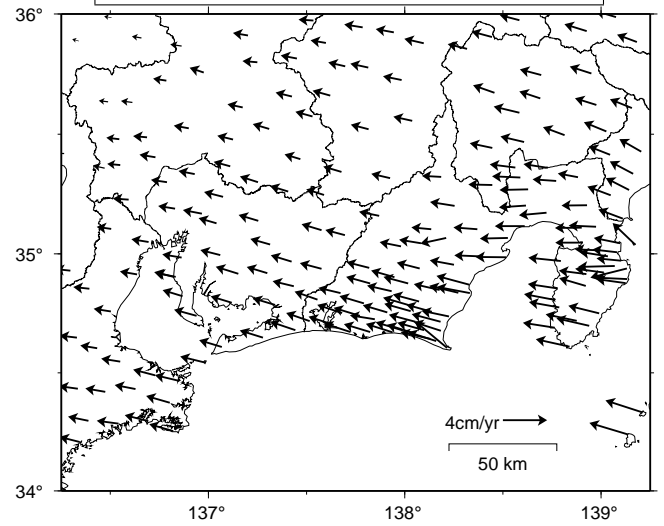
比較期間：2016/12/10 - 2016/12/17 [R3：速報解]



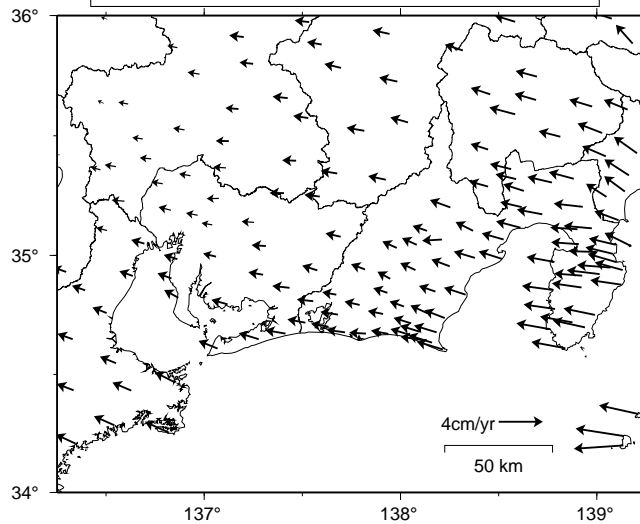
スロースリップ発生前の水平地殻変動速度
(1997年1月～2000年1月)



スロースリップ終息後の水平地殻変動速度
(2008年1月～2011年1月)



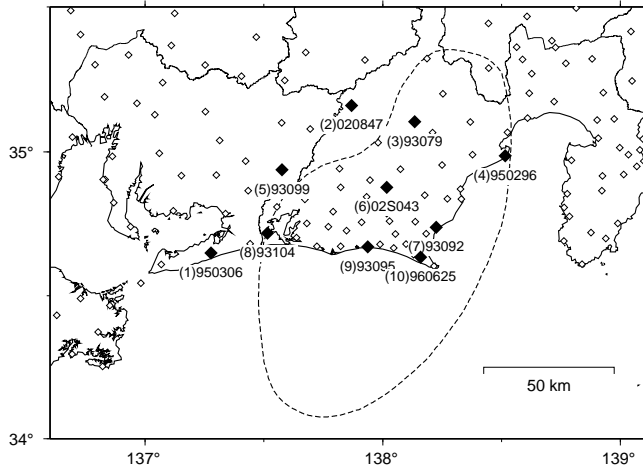
スロースリップ進行期の水平地殻変動速度
(2001年1月～2004年1月)



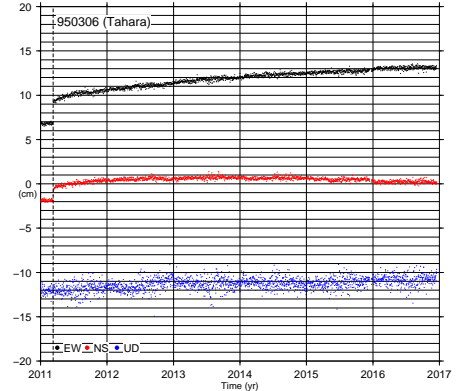
・2016年4月に発生した熊本地震による固定局三隅の地殻変動は補正している。

東海地方の非定常地殻変動時系列【固定局：三隅】

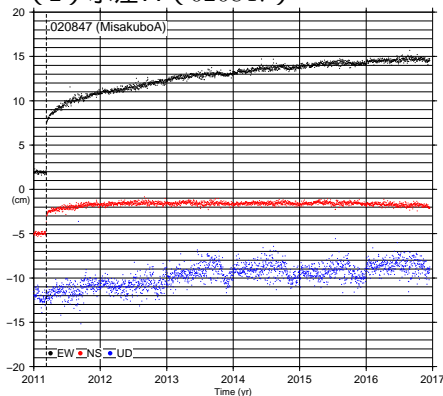
速報解合む 2011/1/1 - 2016/12/17



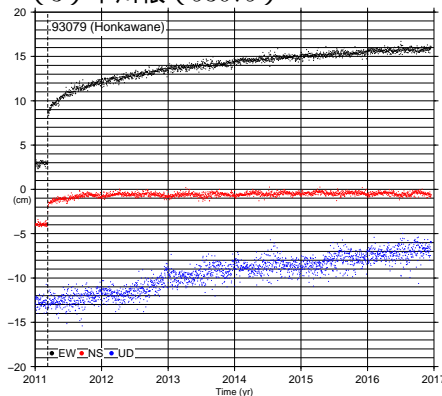
(1) 田原 (950306)



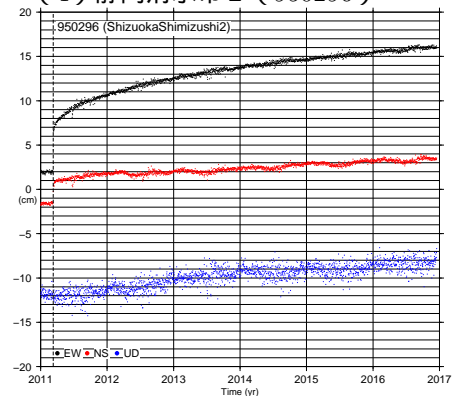
(2) 水窪 A (020847)



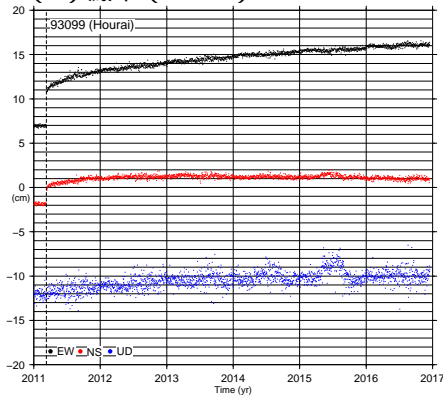
(3) 本川根 (93079)



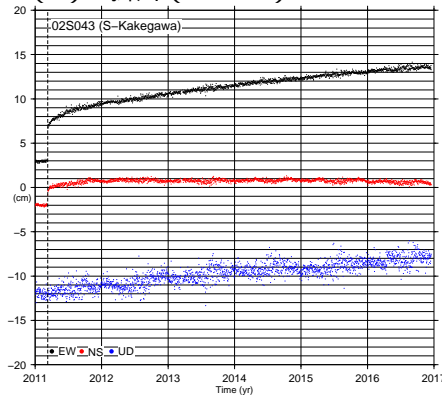
(4) 静岡清水市 2 (950296)



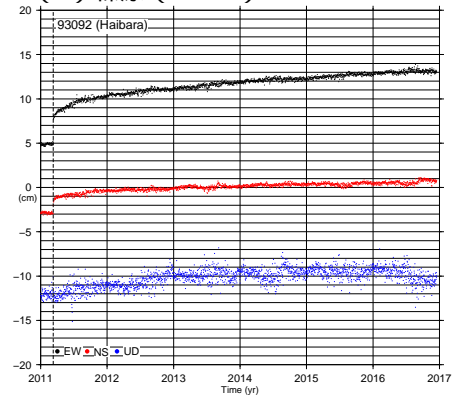
(5) 鳳来 (93099)



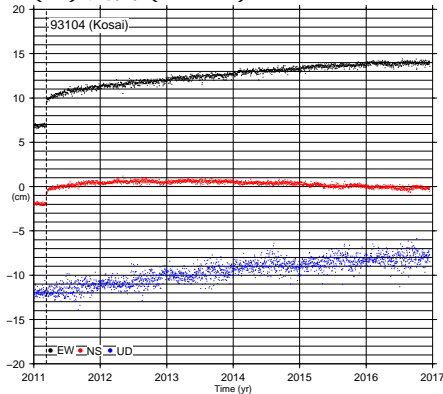
(6) S 掛川 (02S043)



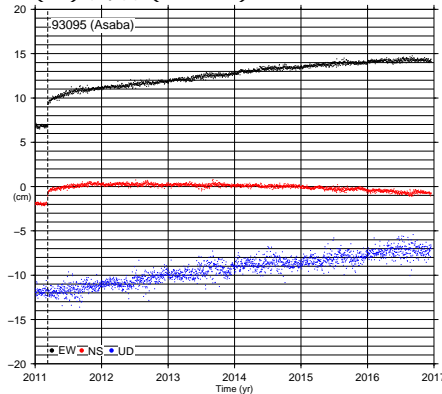
(7) 榛原 (93092)



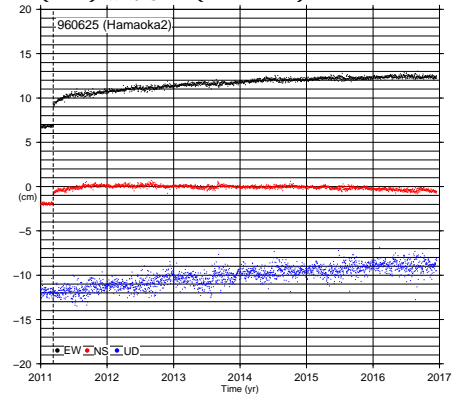
(8) 湖西 (93104)



(9) 浅羽 (93095)

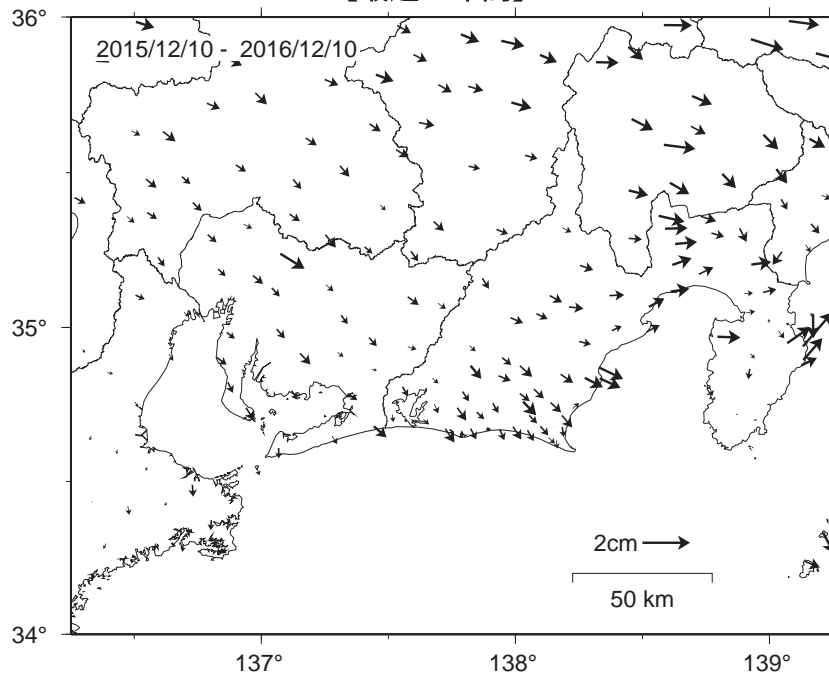


(10) 浜岡 2 (960625)

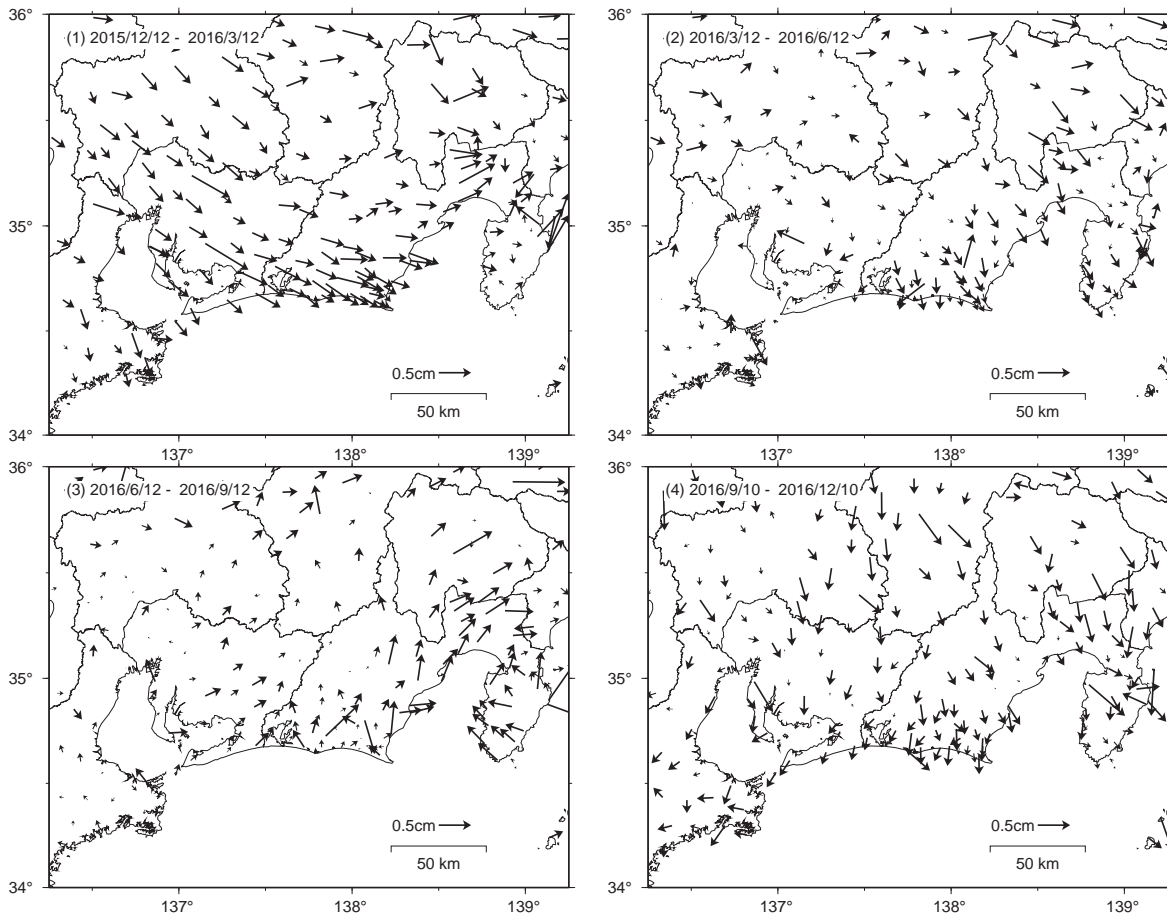


- ・2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動の影響は取り除いていない。
- ・2008年1月1日～2011年1月1日のデータから平均変動速度、年周/半年周成分を推定して、元の時系列データから除去している。
- ・2016年4月に発生した熊本地震による固定局三隅の地殻変動は補正している。

東海地方の非定常水平地殻変動【固定局：三隅】
 (2015年12月～2016年12月)
 【最近1年間】



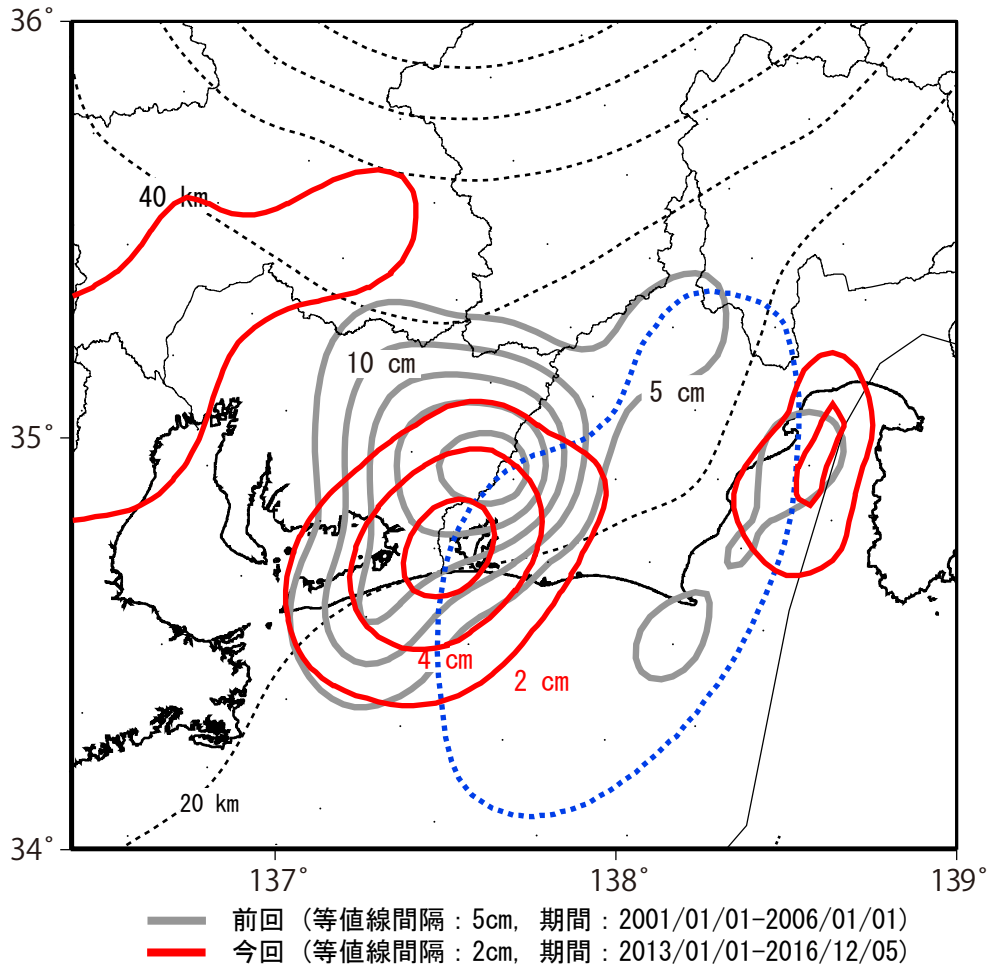
【最近1年間 3ヶ月ごと】



- ・非定常地殻変動時系列から、1年間と3ヶ月間の変動量を表示している。
- ※非定常地殻変動時系列：
 - 2008年1月～2011年1月のデータから平均変動速度、年周/半年周成分を推定して、元の時系列データから除去した時系列。
 - ・2016年4月に発生した熊本地震による固定局三隅の地殻変動は補正している。

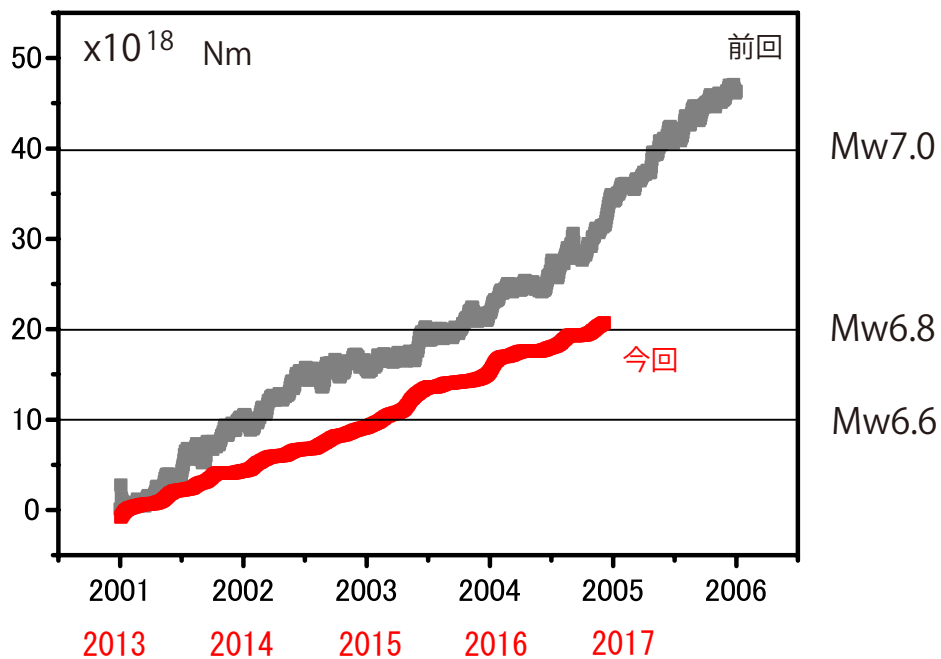
非正常地殻変動から推定される累積すべり分布及びモーメントの時間変化（暫定）

累積すべり分布



- ・それぞれの期間の、累積のすべり量を等値線で示している。
- ・黒破線は、沈み込む海側プレート上面の等深線。
- ・青破線は、東海地震の想定震源域。

モーメントの時間変化



- ・それぞれの期間のモーメントの時間変化を、横軸を重ねて示している。